

平成24年度における施策評価

施策評価調書

政策コード	10	政策名	交通基盤の整備			
施策コード	2	施策名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備			
幹事部局コード	8	幹事部局名	建設部	担当	建設政策課 企画・広報班	
評価者・実施日	1次評価（建設部長）		平成24年8月3日			

1 施策の方向性（必要性と目的）

県内外との交流を促進し、個性的で魅力ある地域づくりを推進するため、主要都市間を結ぶ幹線道路の整備を促進するとともに、道路利用者の視点に立ったわかりやすい道路標識の整備を推進します。

2 施策の状況

(1) 施策目標及びその達成状況

●施策目標(評価指標)		基準値	年度	H22	H23	H24	H25	備考
		年度						
①	県管理国道の改良率(累計) (単位:%)	93	目標値	93.0	93.1	93.2	93.3	
		H19	実績値	93.9	94.0			
	道路現況調査による	—	達成率	101.0%	101.0%			
②	わかりやすい道路標識整備率(累計) (単位:%)	84	目標値	89.0	90.1	91.2	92.3	
		H19	実績値	90.3	91.3			
			達成率	101.5%	101.3%			
達成度				A	A			

達成度 A:「全て達成」 B:「半分以上達成」 C:「達成が半分未満」 D:「全て未達成」 E:「その他」

(2) 施策の推進状況

① 県管理国道の整備促進

■取組内容

・秋田市までの到達時間を概ね90分以内とするなど、交通アクセスを改善する道路として、国道285号滝ノ沢バイパス（北秋田市）等の幹線道路の整備を進めている。
・広域観光の振興を図る道路として、国道108号秋の宮道路（湯沢市）等を、都市の渋滞を解消する道路として、国道107号本荘道路（由利本荘市）等の整備を進めている。

■取組の成果

・毎年概ね0.1%（約1km）ずつ、県管理国道の整備を推進することとしており目標値は達成されている。

■課題と今後の推進方向

・社会資本整備の事業費は年々減少してきているが、県内外との交流促進や個性的で魅力ある地域づくりを推進するために主要都市間を結ぶ幹線道路の整備を促進する必要性は非常に高い。そのため、緊急性及び整備効果が高い箇所を選択し、今後も整備を行っていく。

②わかりやすい道路標識の整備推進

■取組内容

- ・国、県及び市町村が連携して、利用者にとってわかりやすい案内標識の整備を推進します。

■取組の成果

- ・道路利用者の視点に立ったわかりやすい道路標識の整備率を、毎年1%（20基）程度増加させていくことを目標に取り組んでいるが、概ね計画通り整備されている。

■課題と今後の推進方向

- ・道路利用者の視点に立ったわかりやすい道路標識の整備改善に重点的に取り組むことで、県内外の道路利用の快適な観光や安全かつ円滑な道路交通の確保を目指す。

3 評価

(1) 施策幹事部長による1次評価

評価結果	●施策の推進状況 ・厳しい財政状況の中にあっても、各施策とも目標が達成されるなど、施策全体として着実に推進されている。
順調	●課題と今後の推進方向 地域間交流を促進するための県内交通基盤の整備は重要な施策であるが、公共事業を取り巻く諸情勢の変化等により財政的に非常に厳しい状況にあることから、一層の重点化・効率化を図りながら、着実に施策を推進する。わかりやすい道路標識の整備については、高齢ドライバーの増加や自家用車による移動距離の長距離化により、これまで以上に「わかりやすい」道路案内標識が求められていることから、今後も利用者の視点に立った道路案内標識の整備・改善に努める。

(2) 企画振興部長による2次評価

評価結果	●施策の推進状況
	●課題と今後の推進方向

4 評価結果の反映状況等（対応方針）

--

5 政策評価委員会の意見

--